

アーティストが学校へ

ARTIST
IS
COMING



学校プログラムについてのお問い合わせ

横浜市芸術文化教育プラットフォーム事務局

(認定NPO法人STスポット横浜 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 横浜市教育委員会事務局 横浜市にぎわいスポーツ文化局)

〒220-0004

横浜市西区北幸1-11-15 横浜STビル地下1階 認定NPO法人STスポット横浜内

TEL:045-325-0410 FAX:045-325-0414

E-mail: toiawase@y-platform.org URL: <https://y-platform.org/>

横浜市芸術文化教育プラットフォーム
ウェブサイト



Outline 概要

横浜市芸術文化教育プラットフォームとは？

横浜の子どもたちの創造性を育み、豊かな情操を養う機会を拡大するために、横浜などで活動を続けるアートNPOや芸術団体と、地域の文化施設を中心に、学校、アーティスト（芸術家）、企業、地域住民、行政などが緩やかに連携・協働する場が、芸術文化教育プラットフォームです。学校教育とアートをつなぐ「学校プログラム」を通じて、新しいアートの可能性をさぐっています。

学校プログラムとは？

アートの力を、
学びの基礎づくりに生かします。

私たちは、芸術文化のもつ創造性を通して、子どもたちが互いの力を認め合い伸びていく過程を大切に考えています。教科等との連動以外に、コミュニケーション能力の育成など、学びの基礎づくりの中で、力を発揮するのがアートです。自由な発想を導き、感性を育てることで、子どもたちの学習活動がより豊かなものになることを期待します。

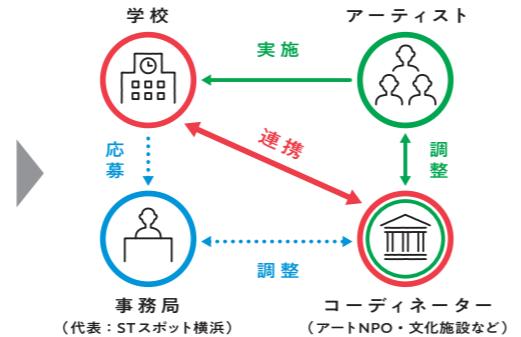
コーディネーターと先生が、
実施内容を調整します。

学校プログラムでは、ふだん文化施設や芸術団体で活動しているスタッフが、学校での実施内容を調整するコーディネーターとして、授業づくりを支援します。対象となる学年と教科等のねらいや、ふだんの学校の様子といった先生がもっている情報と、コーディネーターがもつ芸術文化分野に関する専門知識をかけ合わせることで、効果的なプログラムが実施できます。

※コーディネーターについては25ページをご覧ください。

アーティストが、
直接学校へ出かけます。

音楽・演劇・ダンス・美術・伝統芸能など、幅広い分野で活躍しているアーティストが、直接学校へ出かけます。「体験型プログラム」と「鑑賞型プログラム」の2種類があります。



実施スケジュール

2月～
4月ごろ
実施校の募集

▶ 3～4月
事務局による
実施校の調整

▶ ~5月
実施校への
決定通知

実施に向けての調整
コーディネーターと調整し、
アーティストを決定。打合せを行い、内容を組み立てます。

▶ 5月～
学校プログラム
の実施

▶ 6月～
翌年3月
実施終了後
アンケート実施、
報告書の提出

学校プログラムには、 5つのジャンル、2つの形（プログラム）があります。

※これまでの開催事例は4ページ以降をご覧ください。

● 音楽 >>> p.04

目前で縦横無尽に奏でられる「生の音」に触れてみます。鑑賞活動を足場に、自分たちが実際にやってみる体験へと活動を広げ、音楽の楽しさを実感していきます。

取組内容 … 声楽、器楽、クラシック、ジャズ、創作など



● 演劇 >>> p.08

自分のからだを使って演じる「表現」と、相手の思いを受け止める「コミュニケーション」を体験する活動です。学習発表会などと連動して、学校の中に小さな演劇空間を協力してつくりあげていきます。

取組内容 … 身体表現、パフォーマンス、コミュニケーション・ワークショップなど



● ダンス >>> p.12

気持ちや感情など、言葉や文字にならないものをからだで表現するダンス。自分のいる空間をしっかり把握して、まずはからだを動かしてみるところから始めます。五感を研ぎ澄ませて、身体感觉の大切さを体験します。

取組内容 … コンテンポラリーダンス、身体表現、ヒップホップなど



● 美術 >>> p.16

自分で考えて、自分でつくってみる。その面白さと難しさを体験します。伸び伸びと創作することを通じて、イメージや感覚を捉え、表現する面白さを深めます。自分や友達の多様な表現に触れる機会となります。

取組内容 … 造形、絵画、アニメーション、写真、映像など



● 伝統芸能 >>> p.20

古くから伝わる楽器が織りなす音楽や、歴史を体現している伝統芸能特有のしぐさや身体表現、話芸の鑑賞や体験など、ふだん触れる機会の少ない伝統芸能の世界を感じてみます。知らない世界と出会う楽しさが広がります。

取組内容 … 狂言、落語、邦楽、箏など



体験型 体験型プログラム

3日程度のプログラムです。具体的な体験を通して、アーティストとともにさまざまなジャンルの創造活動に取り組みます。ワークショップ形式で子どもの潜在的な創造性を引き出し伸ばしていくことを主眼に、体験する過程そのものを大切にしながら実施します。対象は一つの学年、取組は1～2クラス単位で行います。

鑑賞型 鑑賞型プログラム

基本的に1日で終了するプログラムです。アーティストによる演奏やパフォーマンスを鑑賞することが基本です。その後アーティストのお話を聴くことで芸術文化を身近に感じることができます。音楽や伝統芸能などの鑑賞を通して、芸術に触れる機会を提供します。対象は一つの学年です。

Music 音楽

目の前で縦横無尽に奏でられる「生の音」に触れてみます。鑑賞活動を足場に、自分たちが実際にやってみる体験へと活動を広げ、音楽の楽しさを実感していきます。



事例1 楽器を体験する、つくってみる



DATA

実施校：緑園義務教育学校（泉区）

コーディネーター：泉区民文化センター・アトルフォンテ

アーティスト：かんかんみゅーじっく伊澤陽一
(スティールパン奏者)

教科・科目：音楽

実施概要：体験型／スティールパン／個別支援学級 26名／
2023年10月（全3日間）

3日間の流れ

1日目

スティールパンを聴く

スティールパンとはどんな樂器なのか、どんな音が出るのかなどを知るために、まずはアーティストによる演奏を鑑賞しました。

2日目

スティールパンを演奏する

スティールパンの音を注意深く聴いた子どもたち。今度は演奏する番です。アーティストの奏でるリズムに合わせながら、自分の出したい音を探しながら演奏しました。

3日目

樂器をつくる

演奏体験を通して、樂器の形やたたき方が、音と深く結びついていることを知った子どもたち。スティールパンと同じ材料のスチール缶を使って、どんな響きになるのかを子どもたちそれぞれが試行錯誤しながら樂器をつくりました。

プログラムを終えて…

先生からのコメント

Q 子どもたちの様子などに変化はありましたか？

A 自分が表現することや、友だちと一緒に活動すること、新しい活動にチャレンジすることに少しずつ慣れていっているように見えました。スティールパンの音をじっくり聴いて音色を楽しんだり、自分が出した音を聴いたあと、工夫して音を変化させようとしたりしていました。アーティストと一緒に演奏できたことで、音を出す楽しさをより実感できたと思います。



Q 実施して良かったことは何ですか？

A アーティストと一緒に音楽等の活動をすることが土台となって、子どもたちと職員間の関係づくりがスムーズになりました。令和4年に小学校から義務教育学校となり、体制が変わりましたが、良い形でスタートできた理由の一つだと感じています。



アーティストからのコメント

回を重ねるごとに、友達になっていくかのように子どもたちの輪に入れたことがとてもうれしかったです。また、スティールパンの音を聴いた瞬間、自分たちが弾いて音が変わっていく瞬間など、音楽を通してさまざまな表情に出会えたことがとても楽しかったです。またどこかでスティールパンと出会ったとき、この時間を思い出してくれたらうれしいです。



コーディネーターからのコメント

個性豊かな子どもたちが音楽を聴いたり樂器をつくりたり、子ども同士でコミュニケーションを取ったりしながら、すっかりアーティストと打ち解けてたくさんの笑顔が見られました。



コーディネーター紹介 泉区民文化センター・アトルフォンテ

アトルフォンテは1993年に開館した、演劇やダンスの上演に最も適した「ホール」を中心とする文化施設です。観る・演じる・創る、この3つの活動を通じ、地域の交流、文化活動の活性化の発展に努めています。中高生を対象にしたミュージカルワークショップの開催や、様々なアーティストを招いてのコンサート・公演事業など、芸術鑑賞の場を提供するとともに、文化活動支援にも力を入れ、「ものづくり」を行う場所としての使命と役割を担っています。これまでに学校プログラムでは、雅楽や合唱、簡単な樂器作りのワークショップなどの授業を実施しています。

事例2 歌声から季節を味わう



オペラ「ヘンゼルとグレーテル」を鑑賞後、クリスマスが近かったこともあり、子どもたちとともにクリスマスソングを歌いました。歌声の重なりを通して、一緒に歌える楽しさや会場全体の連帯感を味わうことができました。

DATA

実施校：大曾根小学校（港北区）コーディネーター：NPO法人横浜シティオペラ
アーティスト：飯田千夏（ソプラノ歌手）、川口美和（メゾソプラノ歌手）、君島広昭（テノール歌手）、山本竹佑（バリトン歌手）、前田孝子（ピアニスト）、山本ひで子（ソプラノ歌手）、末武稀更（スタッフ）
教科・科目：音楽 実施概要：鑑賞型／オペラ／1・2学年12学級・個別支援学級計366名／2023年12月（全1日間）



事例6 声の出し方、伝え方を感じる



課題曲を通して、フレーズの感じ方や、響きある声の発し方を体験しました。最終日は、アーティストによる特別コンサートも鑑賞し、仲間とともに息を合わせること、耳を使うこと、からだの支えを使うことなどの大切さを感じました。



DATA
実施校：上郷小学校（栄区）
コーディネーター：認定NPO法人あっちこっち
アーティスト：宮原健一郎（テノール歌手）、青木佑磨（ピアニスト）
教科・科目：音楽
実施概要：体験型／合唱／5学年3学級88名／2024年10月（全3日間）

事例3 言葉と音楽から想像する



4年生の国語の教科書で取り扱われている「ごんぎつね」といったなじみ深い作品を例に、音楽が物語にどのように影響を与え、役割を持っているのか解説しました。“朗読”と“音読”的違いを知り、子どもたちはその工夫に思いを馳せながら鑑賞することができました。

DATA

実施校：みたけ台小学校（青葉区）コーディネーター：大佛次郎記念館
アーティスト：ピアノと読み声ー絞音ー（ピアノ・朗読デュオ）
教科・科目：音楽、国語
実施概要：鑑賞型／朗読・ピアノ／4学年3学級89名／2024年12月（全1日間）



事例7 演奏で自信を持つ



カスタネットやトライアングルといった身近な楽器を演奏しました。最終日にはたくさんの保護者に見守られる中、子どもたちは一層張り切ってこれまでの積み重ねの成果を披露しました。一人ひとりの工夫やこだわりが感じられる音の数々に、会場は感動に包まれました。



DATA
実施校：黒須田小学校（青葉区）
コーディネーター：青葉区民文化センターフィリアホール
アーティスト：富田真以子（打楽器奏者）
教科・科目：音楽
実施概要：体験型／打楽器／個別支援学級16名／2025年9月（全3日間）

事例4 ギターとピアノの演奏を楽しむ



ギターとピアノの生演奏を間近で鑑賞することによって、日常では感じることができない音や響きを味わい、感じる力を生きる力に結び付けることができました。子どもたちはからだを揺らしたり手拍子をするなど、それぞれの方法で音楽を楽しみました。

DATA

実施校：中村特別支援学校（南区）コーディネーター：吉野町市民プラザ
アーティスト：多治川純一（ギタリスト）
教科・科目：音楽、特別活動
実施概要：鑑賞型／ギター・ピアノ／全学年全学級60名／2025年1月（全1日間）



事例8 多様な音を感じる



「よりクラシックを楽しく」をテーマに、ピアノ・ヴァイオリン・チェロの3つの楽器を使ったコンサートを実施しました。それぞれの音や三重奏になったときの美しいハーモニーを聞くことで、表現することの楽しさや感受性を養いました。



DATA
実施校：下永谷小学校（港南区）
コーディネーター：港南区民文化センターひまわりの郷
アーティスト：TETRA UNISON（クラシック音楽の演奏集団）
教科・科目：音楽
実施概要：鑑賞型／クラシック／3学年4学級127名／2024年12月（全1日間）

事例5 ハープの音色に耳を澄ませる



ふだん触ることのないハープのつくりや演奏方法を知り、音色や響きを味わうことで音楽への興味を深めました。アンコールでは、馴染みのある曲の演奏を聞き、子どもたちは顔を見合わせるなどして楽しんでいました。

DATA

実施校：大口台小学校（神奈川区）コーディネーター：NPO法人子どもに音楽を
アーティスト：早川りさこ（ハープ奏者）、黒田英実（マリンバ奏者）
教科・科目：音楽
実施概要：鑑賞型／ハープ・マリンバ／6学年2学級74名／2025年9月（全1日間）



音楽分野の子どもと先生からのコメント

子どもから

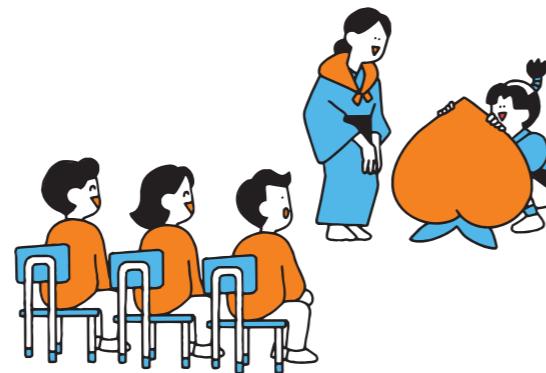
音楽は気持ちや場面の出来事を表せるものなんだと思った。／音楽で人と交流できることが分かった。／楽器のことを教えてくれたり、美しい音楽が聴けていい体験ができた。

先生から

物語をより感じられるような演奏をされていて感動した。／子どもたちが音楽に親しむという実体験をより深めることができた。

Theater 演劇

自分のからだを使って演じる「表現」と、相手の思いを受け止める「コミュニケーション」を体験する活動です。学習発表会などと連動して、学校の中に小さな演劇空間を協力してつくりあげていきます。



事例1 手づくりの森で遊ぼう



DATA
実施校：茅ヶ崎小学校（都筑区）
コーディネーター：ボッシュホール（都筑区民文化センター）
アーティスト：クロひげ
教科・科目：図画工作
実施概要：体験型／創作／個別支援学級11名／2025年11月（全3日間）

トイレットペーパーや新聞紙などいろいろな種類の紙を配置して自由に森をつくり、その中で生活する動物を演じました。普段できないことをダイナミックに体験し、「こうしていいんだ」と子どもたちが自信を持てる時間になりました。

3日間の流れ

1日目

森をつくってみよう

緊張をほぐして距離を縮めるために自己紹介をしてから、徐々に遊びを取り入れていきます。さまざまな紙に触れ、それを破いてみることで、肌でも耳でも楽しみながらものをつくっていました。

2日目

動物になってみる

みんなで円になって好きな動物を共有した後、1日目の続きとして森をつくりました。紙をちぎったり身にまつたりしながら、にぎやかに森をつくりていきます。アーティストの声掛けで象やキリンになりきりながら、自由に森を歩きました。

3日目

暗闇を探検する

教室の照明を落とし、真っ暗な夜の森の中を保護者と一緒に探検します。明るい中で見る森と暗い中で見る森は違うことを、視覚でも楽しみました。最後にはみんなで協力して片付けをするメリハリのある姿が見られました。

プログラムを終えて…

先生からのコメント

Q 子どもたちにとって、どのような体験になりましたか？

A 複数日程で前の活動とのつながりもありつつ、毎回新しい発展的な内容も入れてください、好奇心旺盛に楽しむ姿を引き出していました。美しく舞い散る紙吹雪や、ブラックライトで光る紙、パラバルーンのような大きな紙など、学校の授業だけでは体験できないような「紙」と出会うことができ、たくさんの笑顔が見られました。



Q 今後の学校の学びの中で、どのような影響があると思いますか？

A 学校の教師や放課後等デイサービスの方々でもない大人の方と楽しく関わり、信頼関係を築くことができたことが、良い経験になったと思います。片付けを進んで行ったり、すばやく切り替えをできたりする姿も見られたので成長を感じました。



アーティストからのコメント

素材で遊ぶうちに「見て見て！」と自分のしたことを紹介したり、友だちと協力してひらめきを形にしたりと、子どもたちのさまざまな姿を見ることができました。先生方も「こんなこともしてみようかな？」と考えながら過ごしてください、ワクワクしながら表現を楽しむムードが広がりました。回を重ねる度に新しい発見があり、紙という身近な素材から立ち上げた劇空間の中で素敵なお時間を一緒に過ごすことができました。



コーディネーターからのコメント

ふだんできないダイナミックな体験・遊びを通じて、アーティストと子どもたちの距離が縮んでいくのがわかりました。回を重ねるごとに子どもたちの興味や行動が大きく広がり、自発的な発語やジェスチャーによるコミュニケーションが多くなりました。はじめは個々での行動が目立ちましたが、最終的にはみんなで協力している姿が見られ、成長を感じることができました。



コーディネーター紹介 ボッシュホール（都筑区民文化センター）

「ボッシュホール（都筑区民文化センター）」は2025年3月16日に開館した、ホール、ギャラリー、リハーサル室などを備えた文化施設です。地域に根差した個性ある文化の創造をミッションとする「区民文化センター」のうち、市内で13番目の施設です。当館は「ボッシュ株式会社」がネーミングライツ・スポンサーとなり、愛称「ボッシュホール（英語名:Bosch Hall）」として開館しました。

事例2 動きから想像する



からだを使い、何もない空間からさまざまな物事を想像するパントマイムを鑑賞しました。鑑賞するだけでなく、実際に子どもたちが体験する時間も設け、自分のからだを通して空間をつくる体験も行い、想像することの幅広さを体験する時間となりました。

DATA

実施校：下末吉小学校（鶴見区）

コーディネーター：鶴見区民文化センターサルビアホール

アーティスト：沢村誠一（パントマイムパフォーマー） 教科・科目：総合的な学習の時間

実施概要：鑑賞型／パントマイム／全学年174名／2023年12月（全1日間）



事例6 仲間とともにつくりあげる



ふだん当たり前だと思っている「コト」や「モノ」が「もしも～だったら」と考え、演劇をグループごとにつくりました。セリフなども子どもたちが考え、グループで意見を出し合いながら主体的に活動しました。



DATA

実施校：山田小学校（都筑区）

コーディネーター：横浜市民ギャラリーあざみ野

アーティスト：村松裕子（演出家） 教科・科目：国語、体育

実施概要：体験型／創作／6学年3学級84名／2024年10～11月（全3日間）

事例3 遊び心を持とう



遊ぶ要素を取り入れた演劇づくりを心がけ、「桃太郎の知られざる一場面」を創作しました。はじめは緊張していた子どもたちも、思わず声を出したり少しづつ感情を全身で表現するようになり、一つとして同じものはない見応えのある作品が出来上がりました。



事例7 全力で演じる体験



演劇祭に向けて、感情の伝え方やからだの動かし方で人物を演じ分ける体験をしました。お腹の底から出すアーティストの声や、一瞬で別人に変わってしまう演技を目の当たりにし、子どもたちも真剣に演技に向き合う時間となりました。



DATA

実施校：霧が丘義務教育学校（緑区） コーディネーター：アートの時間

アーティスト：オオタスセリ（コメディ作家、コメディエンヌ、シンガーソングライター）

教科・科目：コミュニケーション・表現科 実施概要：体験型／表現／中学部79名（演劇祭で役者志望の生徒のみ）／2025年9～10月（全3日間）

事例4 物語の世界を共有する



紙芝居づくりのお話を考える、絵を描く、読み手になる、拍子木を鳴らす、などさまざまな要素の中から、一人ひとりのやりたいことを見つけて進めていました。お話づくりの楽しさを感じ、仲間とのコミュニケーションを深める活動になりました。



事例8 自信について考える



「自信」という言葉をキーワードにし、話し合いながら劇をつくりました。グループごとの創作では、アーティストと子どもたちが一緒に意見を交換しました。自由な発想を認め合うグループワークで、自信につながる活動になりました。



DATA

実施校：川上小学校（戸塚区） コーディネーター：戸塚区民文化センターさくらプラザ

アーティスト：佐藤辰海（脚本家、演出家）

教科・科目：総合的な学習の時間

実施概要：体験型／創作／5学年2学級41名／2022年10～11月（全3日間）

事例5 違いを話してみる



うれしいや苦しい、優しいなど、いろいろな感情をつかさどる言葉のニュアンスについてどう感じるのか、グループに分かれて話し合いました。自分と他の人が、どう違って、どう同じなのか。感じたことを受け止め合い、他者について考える時間になりました。



演劇分野の子どもと先生からのコメント

子どもから

アイデアを出すうちに、どんどん話がつながって面白い発見があった。／演技を始めた途端に場の空気から全て変えてしまうプロの演技がすごかった。

先生から

失敗を気にしない雰囲気でき、「まずはやってみる」ということが伝わったと思う。／アーティストが実演された瞬間、生徒が息を飲んで演技に見入っていた。

Dance ダンス

気持ちや感情など、言葉や文字にならないものをからだで表現するダンス。自分のいる空間をしっかり把握して、まずはからだを動かしてみるとからはじめます。五感を研ぎ澄ませて、身体感覚の大切さを体験します。



事例1 踊りを通して相手を知る



DATA

実施校：菅田の丘小学校（神奈川区）

コーディネーター：横浜赤レンガ倉庫1号館

アーティスト：妖精大図鑑 永野百合子（ダンサー、振付家、演出家）、飯塚うなぎ（脚本、舞台美術）

教科・科目：体育

実施概要：体験型／コンテンポラリーダンス／
5学年3学級101名／2025年8～9月（全3日間）

気持ちや言葉・情景などをからだで表現するダンス。からだの使い方や面白さを感じてから曲に合わせて踊ることで、抵抗感なく楽しめました。クラスごとの発表を見せ合う時間では、相手のことや自分ことを認め合うひと時となりました。

3日間の流れ

1日目

からだの動きで伝える

友だちとペアになり、お互いのからだの動きをまねし合いました。相手を動かしたり、自分が動かされたりする中で、「言葉以外の方法で相手と関わること」や「型のない表現」について知ることができました。

2日目

よく見て踊る

アーティストの動きをよく観察し、J-POPの課題曲に合わせたキャッチーなダンスを踊りました。盆踊りの動きなど日常で見覚えのある動作もあり、踊ることの楽しさを純粋に感じることができました。

3日目

曲の世界を味わう

前回覚えたダンスをもとに、どうすれば曲の世界観が伝わるか考えながら踊りました。最後にはクラスごとの発表を通じて友だちの踊りを鑑賞したり、学年全員で輪になって踊ることで、一体感を味わいました。

プログラムを終えて…

先生からのコメント

Q アーティストが学校に来て良かったことは何ですか？

A プロとして活躍されている方の表現や言葉に触ることで、子どもたちが自分の可能性に気づくきっかけになったことです。はじめは少し照れや不安もあったようですが、アーティストの方の明るく前向きな姿勢に引っ張られ次第に自分から表現しようとする姿が見られました。「自分の思いを形にしていいんだ。」と感じる、大きな学びになったと思います。

Q 子どもたちにとって、どのような時間になったと思いますか？

A お互いを認め合いながら、思い切りからだを動かして表現する楽しさを味わえた時間だったと思います。できる・できないではなく、心を込めて踊ることの大切さを感じられたようでした。アーティストの方が一人ひとりの良さを見つけて励ましてくださり、子どもたちにとって自信につながる貴重な機会になりました。



アーティストからのコメント

喜んで転げ回ったり、じっくりと動きを追ったり、素直で元気な子どもたちの様子に、改めて人間の多様で豊かなコミュニケーション能力を見た3日間でした。中には体育やダンスが苦手だと感じている子も居るかと思います。私もそうです。とは言え、自分のからだとは一生の付き合いになるので、こんな動きをしたことがあるな、といつの日か思い出してもらえたうれしいです。



コーディネーターからのコメント

踊りの中に自由なポーズを取り入れることによって、相手との関わりや型のない表現の導入にうまくつなげることができたと思います。講師を追いかけるかのように、一生懸命踊っている子どもたちの姿がとても印象的でした。



コーディネーター紹介 横浜赤レンガ倉庫1号館

1913年に創建された横浜赤レンガ倉庫1号館は、2002年にリニューアルされ「芸術文化の創造発信」と「賑わいの創出」を目指した文化施設として運用されています。2・3階は「ホール&スペース」となっており、コンサートやギャラリーなどの貸出施設として、幅広いジャンルのイベントに使われています。主催事業はコンテンポラリーダンスと現代アートを中心に展開し、芸術文化活動と賑わい創出を総合的に振興しています。これまでに学校プログラムでは、身体表現、コンテンポラリーダンスなどの授業を実施しています。

事例2 意図を考えながら踊る



アーティストと相談しながら、3日間で1曲の振り付けに挑戦しました。アーティストの「こんなことを歌っているからこういう動きにしてみたよ」という話を聞きながら、歌詞に添った意図のある振り付けについて考えながら、みんなで踊りました。



DATA

実施校：勝田小学校（都筑区）コーディネーター：急な坂スタジオ

アーティスト：酒井幸菜（振付家、ダンサー）

教科・科目：体育、生活、総合的な学習の時間 実施概要：体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級37名／2024年12月（全3日間）

事例6 ダンスを楽しもう



子どもたちの好みに合わせた曲を課題曲として、合同発表会に向けたダンスの練習をしました。ダンスが得意な子もいれば苦手な子もいましたが、アーティストの温かい声掛けによって、みんなで楽しみながら振り付けを覚えることができました。



DATA

実施校：太尾小学校（港北区）

コーディネーター：港北区民文化センターミズキーホール

アーティスト：一彩（太鼓・ダンス）教科・科目：体育

実施概要：体験型／ダンス体験／個別支援学級26名／2025年11月（全3日間）

事例3 からだあそびで自分を表現してみよう



動きのまねから振り付けのダンス、新聞紙を使った活動、ボディペーカッションなど、子どもたちの様子や雰囲気に合わせたからだあそびをたくさん行いました。同じ活動の中にも新しい要素を取り入れ、それが安心しながら元気いっぱいに取り組みました。



DATA

実施校：つつじが丘小学校（青葉区）コーディネーター：NPO法人Offsite Dance Project

アーティスト：黒須育海（振付家、ダンサー／ブッシュマン主宰、コンドルズ）

教科・科目：体育

実施概要：体験型／コンテンポラリーダンス／個別支援学級21名／2025年1月（全3日間）

事例7 自分から動いて伝える



ペアやグループになってお互いの呼吸を感じながら、からだを動かしました。活動が進むにつれ、子どもたちが自分のタイミングで動き、新しいアイデアが生まれたときには、自ら意見や感想をアーティストに伝える姿が見られました。



DATA

実施校：上白根小学校（旭区）

コーディネーター：Media Global

アーティスト：小暮香帆（ダンサー、振付家）教科・科目：体育

実施概要：体験型／コンテンポラリーダンス／3学年2学級57名／2025年6～7月（全3日間）

事例4 自分を自由に表現する



「ダンスは自由。ポーズも自分で考えてみよう」と促される子どもたち。思うままに自分を表現し、どんどん自信にあふれた大きな表現をするようになりました。表現することに苦手意識をもつ子どもも、からだを動かす楽しさを感じながら参加できました。



DATA

実施校：森の台小学校（緑区）

コーディネーター：緑区民文化センターみどりアートパーク

アーティスト：FUNBURGER（ダンススタジオ）教科・科目：音楽、体育

実施概要：体験型／身体表現／個別支援学級27名／2022年11～12月（全3日間）

事例8 心をつなぐチアダンス



みんなで心を合わせ、ひとつのものをつくり上げる喜びを感じられることを目標に、チアダンスを踊りました。実施期間中にお休みした子に振り付けを教える子や、家でも踊っていると報告してくれる子も見られ、積極的に頼もしい姿を見せてくれました。



DATA

実施校：瀬谷さくら小学校（瀬谷区）

コーディネーター：瀬谷区民文化センターあじさいプラザ

アーティスト：一瀬由紀（日本シニアチア協会インストラクター）

教科・科目：総合的な学習の時間

実施概要：体験型／チアダンス／6学年2学級62名／2024年10～11月（全3日間）

事例5 空間をいかして、他者とつながる



自分の気持ちや考えを素直にからだで表現し、友だちの表現も互いに認め合うことを目標に、たくさんからだを動かしました。最終的には体育館に差し込む光のラインに沿って、一人ずつポーズをつなぎます。前の子とどうつながろうか自分で考えながら、みんなでつくる光の道が出来上がりました。



DATA

実施校：平安小学校（鶴見区）コーディネーター：NPO法人芸術家と子どもたち

アーティスト：伊藤知奈美（ダンサー）教科・科目：体育

実施概要：体験型／身体表現／個別支援学級27名／2024年12月（全3日間）

ダンス分野の子どもと先生からのコメント

子どもから

いろいろな動きを見た。自分が踊りたい踊りができるよかったです。プロのダンスの振り付けに感動した。難しいダンスでも友だちとやったら楽しかった。ダンスは心をつなぐものだと思った。

先生から

アーティストの子どもたちへの働きかけが素晴らしい。決められたダンスを踊るだけでなく、自分たちでつくり出したということが、子どもたちにとって大きな自信になっていた。

Art 美術

自分で考えて、自分でつくってみる。その面白さと難しさを体験します。伸び伸びと創作することを通じて、イメージや感覚を捉え、表現する面白さを深めます。自分や友だちの多様な表現に触れる機会となります。



事例1 想いを伝える作品づくり



DATA

実施校：浦舟特別支援学校（南区）

コーディネーター：横浜美術館

アーティスト：青山悟

教科・科目：図画工作

実施概要：体験型／造形／全学年10名
2025年10月（全2日間）

「近くの誰か」「遠くの誰か」に思いを馳せながら、フェルトを素材に作品づくりをしました。アーティストに出会い、作品に触れ、ともに創作活動を行うことを通して、病院内で生活している子どもたちや特別支援学校に通う子が、社会と接することのできる機会となりました。

2日間の流れ

1・2日目

アーティストの作品を鑑賞し、自分でもつくってみる

浦舟特別支援学校 本校通学・院内学級・訪問指導の子どもたちに向けたワークショップ。まずはアーティストの緻密な刺繡作品を鑑賞し、「良い作品とはどういう作品か?」という問いかけから始まりました。その後、子どもたちも実際に手を動かして、フェルトの作品づくりを行います。中には保護者に向けたユニークな作品をつくる子の姿も見られ、誰かのことを想って作品をつくり、渡すことは一つのコミュニケーションになると気付きました。オンラインで参加している子の手元にも材料を用意し、直接参加している子に近い環境で作品づくりを行うことができました。

プログラムを終えて…

先生からのコメント

Q 今回の取組で良かったことは何ですか？

A たくさんあるフェルトや毛糸の中から自分の好きなものを選んで制作できたのが良かったです。自由に発想する子どもたちと一緒に、アーティストの青山さんも制作してくれたのも貴重な体験でした。また、出来上がった作品に対して、青山さんから一つずつ温かいコメントをいただけたのもうれしかったです。



Q 今回の取組で印象的だったことは何ですか？

A 「あの人への思いを伝える」というテーマ以外は自由という制作活動で、子どもたちが好きな色のフェルトを切って重ねたり縫い合わせたり、あげる誰かを思い、悩みながらも楽しそうに制作する姿が印象的でした。また、青山さんの作品を実際に見たり、作品に対する思いを聞いたりすることができ、子どもたちにとって良い経験になりました。



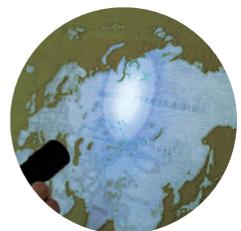
アーティストからのコメント

短い時間でしたが、参加者一人ひとりの強い表現欲求を感じることができました。他者に思いを伝えるためのブローチ、ワッペンづくりということで、最初は照れくさかったり、戸惑ったりした子もいたと思いますが、作品に込めた思いは、真剣に制作に向き合ったぶんだけちゃんと伝わります。今回、みんながつくったブローチやワッペンは、きっとそれを受け取った人たちだけでなく、このプログラムに関わった全ての人たちを幸せな気分にしてくれたと思います。



コーディネーターからのコメント

アーティストのアートに対する真摯な姿勢とさまざまな問い合わせに、子どもたちが自発的に考え、自分なりの意見を発表する様子が非常に印象的でした。創作活動においても、テーマの意図を深く理解し、魅力的な作品を制作していました。今回のプログラムを通じ、子どもたちの豊かな発想と計り知れない可能性を改めて感じるとともに、プラットフォーム事業の意義を再認識しました。



コーディネーター紹介 横浜美術館

1989年に開館以来、みる、つくる、まなぶの理念のもと、造形と鑑賞を通した教育普及事業に取り組んでまいりました。学校訪問プログラムでは、横浜美術館エデュケーターがコーディネーターを担当し、現在活躍中のアーティストとともに、児童・生徒の皆さんに創作体験やコミュニケーションを通した豊かな美術との出会いをお届けします。

事例2 全身を使って作品をつくる



全身でクラフト紙を使った造形遊びをしたあと、各グループで作品制作・発表をしました。手だけでなく全身を使ったことで、からだ全体を覆う衣装のような作品もでき、発表時はタブレット端末で撮影した作品とともに、制作過程を感じたり試みたりしたことなども伝えました。



DATA

実施校：浦島小学校（神奈川区）

コーディネーター：神奈川区民文化センターかなっくホール

アーティスト：椎橋げんき（日本画家） 教科・科目：図画工作

実施概要：体験型／造形／3学年3学級87名／2021年12月（全2日間）

事例3 表現したいものを描く楽しさ



水彩画で「将来の自分の顔を描く」ことをテーマに、各自好きな年齢を設定し、肌の質感などを多色で表現することに挑戦しました。児童たちは混色やにじみなどの実演を見ると、色の変化に驚きながらも、自分の表現したいものと対話してさまざまな技法を試していました。



DATA

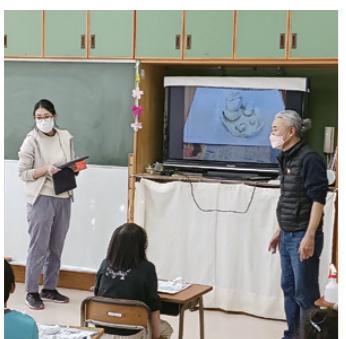
実施校：稲荷台小学校（西区）

コーディネーター：横浜市民ギャラリー

アーティスト：皆川琴美（画家） 教科・科目：図画工作

実施概要：体験型／水彩画／4学年2学級73名／2023年10～11月（全3日間）

事例4 粘土でマイワールドをつくろう



1日目には感覚を開くことを目的に、いろいろな言葉や音楽から思い浮かんだイメージを制作し、2日目では子どもたちの考えるマイ妖怪を紙粘土でつくり、発表をしました。子どもたちは想像力を膨らませながら一心不乱に作品をつくり上げ、お互いの世界観を認め合いました。



DATA

実施校：権太坂小学校（保土ヶ谷区） コーディネーター：岩間市民プラザ

アーティスト：中津川浩章（美術家、アートディレクター、表現活動研究所ラスコ代表）

教科・科目：図画工作

実施概要：体験型／粘土造形／個別支援学級17名／2024年12月（全2日間）

事例5 みんなで理想の自分を描こう



一人ひとりが自由に想像した「理想の自分」を段ボールに描いて、カラフルな色を重ねていきました。最後にはそれを合体させ、一つの大きな作品にしました。個人の作品が「みんなの作品」になり、達成感と満足感を二重に感じることができました。



DATA

実施校：六浦南小学校（金沢区） コーディネーター：横浜市 長浜ホール

アーティスト：浅葉弾（クリエイティブディレクター、子どもアートプロデューサー）

教科・科目：図画工作

実施概要：体験型／造形／2学年2学級50名／2024年11月（全3日間）

事例6 オブジェを通して繋がろう



近隣の幼・保育園生とともにグループに分かれ、みんなでふわふわのオブジェを作成しました。からだを使って絵を描くことをツールにコミュニケーションを取りながら、絵を変化させていきます。作品づくりの時間が、幼・保育園生との貴重な交流を生むことにつながりました。



DATA

実施校：笠間小学校（栄区） コーディネーター：栄区民文化センターりりす

アーティスト：石河美和子（アーティスト・染色家） 教科・科目：図画工作

実施概要：体験型／造形／1学年3学級76名／近隣の幼・保育園年長52名も参加／2024年9月（全3日間）

事例7 惑星になって宇宙を旅する



連携幼稚園・保育園と合同で、太陽系をテーマに惑星制作を行いました。チームに分かれて工作をしたあと、体育館に並べた大きな「惑星」に絵を描いて持ち上げたり、音楽に合わせて一緒に膨らませたり縮めたりして楽しみました。



DATA

実施校：さわの里小学校（磯子区） コーディネーター：磯子区民文化センター杉田劇場

アーティスト：寺道健一朗（横浜メモリーゴーランド研究所代表）

教科・科目：音楽、図画工作 実施概要：体験型／造形・音楽／1学年2学級46名／幼稚園・保育園児60名も参加／2025年1月（全3日間）

事例8 見方を変えると世界が変わる



体育館で大きな紙にみんなでからだを使って自由に絵を描きました。最後にその絵を分割してそれぞれが頭から被れる作品になりました。同じ物でもいろいろな見方ができることを楽しみました。



DATA

実施校：汐入小学校（鶴見区）

コーディネーター：Art Lab Ova

アーティスト：Art Lab Ova（アーティストユニット）

教科・科目：図画工作

実施概要：体験型／造形／1・2学年2学級45名／2025年9月（全3日間）

美術分野の子どもと先生からのコメント

子どもから

「自由につくっていいよ」と言ってくれてうれしかった。／いろいろな人と関わることで、今までになかったアイデアが生まれたり、工夫するための方法が分かったりした。

先生から

自分自身で感じ、考える時間を持つことの重要性を学んだ。／アーティストがどの子にも肯定的な声掛けをしていて勉強になった。／たくさんの素材に触れて、試行錯誤しながら取り組む姿が見られて良かった。

Traditional 伝統芸能

古くから伝わる楽器が織りなす音楽や、歴史を表現している伝統芸能特有のしぐさや身体表現、話芸の鑑賞や体験など、ふだん触れる機会の少ない伝統芸能の世界を感じてみます。知らない世界と出会う楽しさが広がります。



事例1 生の和楽器に触れる



DATA

実施校：日吉南小学校（港北区）

コーディネーター：横浜市大倉山記念館

アーティスト：小畠香子（生田流箏曲演奏家）、見澤太基（尺八奏者）

教科・科目：音楽

実施概要：体験型／箏・尺八／6学年4学級150名／2023年11月（全3日間）

箏の歴史や材質を知ったあと、「さくらさくら」に挑戦しました。メロディと伴奏に分かれ、合奏も体験。最後に、アーティストの演奏を聴きました。音楽を演奏することの楽しさを味わい、アーティストの演奏も集中して鑑賞していました。

3日間の流れ

1日目

箏のことを知る

テレビでは聴いたことがあるけど、実物を見たり、音色を直接聴いたりするのは初めての子どもたち。箏の歴史や楽器の材質を知り、楽器を触ってみました。

2日目

「さくらさくら」を弾く

1日目で、基本の弾き方を学んだ子どもたち。「さくらさくら」の演奏を通して、少し難しい奏法である「押し手（おしで）」や、「ピッチカート」に挑戦しました。

3日目

合奏する

メロディと伴奏に分かれて練習し、最後には合奏しました。実際に演奏する楽しさを味わったあとで、アーティストの演奏を体験しました。

プログラムを終えて…

先生からのコメント

Q どのようなねらいで、今回の取組に応募しましたか？

A 画面越しではない、生の演奏や芸術に触れる機会になればと考えたからです。もともと、興味のあることには自分から取り組む力がある子どもたちですので、体験することで関心をもって、自分から学ぶきっかけになるのではと思って応募しました。



Q アーティストが来て良かったことは何ですか？

A 技術以外にも、アーティストの方ご自身の和楽器や演奏、音楽に対する思いが子どもたちに伝わったことです。箏や尺八を大切にしている心や好きだという気持ち、それを生業とするという気迫や覚悟が肌で感じられたと思います。子どもたちも真剣に向き合い、とても集中して取り組みました。



アーティストからのコメント

子どもたちが休み時間も箏の練習に来るなど、熱心に探究する姿がとても印象的でした。また、教わったことを素直に吸収し、すぐ発揮できるしなやかさ、友だち同士で教え合う優しさなど、心の豊かさを強く感じました。体験のあとに、私たちの演奏を聞くことによって、和楽器に対する理解を深めてもらえたのではないかと思います。



コーディネーターからのコメント

箏に初めて触れる子どもも多く、大変熱心に練習し、最終日には両手で弾くことに挑戦するなど、中身の濃い時間でした。アーティストの演奏のときは、絃を弾くときの力の強さや、絃を押すと半音上がったり下がったりする様子を間近で学んでいました。



コーディネーター紹介 横浜市大倉山記念館

横浜市大倉山記念館は、横浜市内・市外の皆様に事前予約の上、ご利用いただける文化施設です。ギリシャ神殿を思わせる外観に、莊厳なエントランス、東洋を象徴する木組みを用いたホールも有り、横浜市指定有形文化財に指定されています。映画やテレビドラマ、CMやMVなどの撮影にも数多く利用されている他、館内はご見学いただけます。館内の各施設は、小規模な音楽会、研修会、会議、趣味サークルなどに適しており、回廊式のギャラリーは、絵画、生花などの展示にご利用いただけます。これまでに学校プログラムでは、声楽や民族音楽、箏などの和楽器の授業を実施しています。

事例2 日本の伝統文化に触れる



箏の特徴や歴史などの説明を聞いたあと、実際に箏に触れて「さくらさくら」の演奏に挑戦しました。外国籍や個別支援学級の児童たちも加わり、演奏家と一緒に演奏したり演奏家の生演奏を間近で鑑賞したりすることで、日本の伝統芸能に触れられる機会となりました。



DATA

実施校：元街小学校（中区）

コーディネーター：横浜市市民文化会館内ホール

アーティスト：奥田雅楽之一（地唄三弦・生田流箏曲演奏家、作曲家）教科・科目：音楽

実施概要：体験型／箏／4学年3学級81名／2024年7月（全2日間）

事例6 寄席の芸を楽しもう



落語と色物を鑑賞し、寄席の芸を味わいました。落語の体験では、代表の児童が失敗を恥ずかしがらずに堂々と発表する姿が見られ、たとえ言い間違えても友だちは笑うことなく応援の言葉をかけるなど、クラスの仲も深まった時間となりました。



DATA

実施校：岸谷小学校（鶴見区）

コーディネーター：横浜にぎわい座

アーティスト：桂南楽（落語家）、小泉ボロン（マジシャン）教科・科目：音楽

実施概要：鑑賞型／落語／6学年2学級67名／2024年12月（全1日間）

事例3 和の心を学ぶ



アーティストの和太鼓演奏を真剣に聞き入ったあと、自分たちも実際に練習し、最後には友だちとその成果を発表し合いました。和太鼓の技術だけではなく、日本で古くから大切にされている礼節や所作についても教わることができ、貴重な時間となりました。



DATA

実施校：笹野台小学校（旭区）

コーディネーター：旭区民文化センターサンハート

アーティスト：横浜太鼓座 教科・科目：音楽

実施概要：体験型／和太鼓／4学年3学級83名／2024年11月（全3日間）

事例7 現代へ受け継がれる音色



友だちと協力し、一面の箏を三人で交代しながら「さくら」を練習しました。後半では発表を行い、鑑賞側としても箏の魅力に触れました。アーティストが流行曲を演奏した際には、偶然にも運動会で使用した曲だったこともあり、子どもたちはとても盛り上がっていました。



DATA

実施校：山元小学校（中区）

コーディネーター：横浜みなとみらいホール

アーティスト：外山香（箏演奏家）教科・科目：音楽

実施概要：鑑賞型／箏／4学年2学級49名／2024年10月（全1日間）

事例4 狂言の面白さに触れる



「柿山伏」の鑑賞や狂言の体験を通して、身を持って狂言に触れることができ、笑い声も上りました。子どもたちはアーティストへも積極的に質問を行ったり、周りの子と話し合うなどといったことを通して、コミュニケーション能力をはぐくむことができました。



DATA

実施校：東品濃小学校（戸塚区）

コーディネーター：横浜能楽堂

アーティスト：狂言方大蔵流 山本東次郎家（能楽師狂言方）教科・科目：国語

実施概要：鑑賞型／狂言／6学年3学級83名／2024年10月（全1日間）

事例8 みんなで楽しみながら学ぶ



太鼓の基本的な構えや叩き方を学んでから「輝け囃子」を叩きました。一人で太鼓を叩くだけでなくグループで順番に叩き一つの曲を仕上げる過程で、子どもたちは互いに声をかけ合ったり自分の番ではより良い音を求めて集中する姿が見られました。



DATA

実施校：篠原西小学校（港北区）

コーディネーター：民族歌舞団 荒馬座

アーティスト：民族歌舞団 荒馬座（演技者）教科・科目：音楽

実施概要：体験型／お囃子／4学年3学級96名／2024年12月（全3日間）

事例5 狂言に親しむ



「柿山伏」の鑑賞後、登場した動物の鳴き声や狂言の感情表現を体験しました。せりふ回しだけでなく、大笑いの発声・表情のつくり方などを実践し、狂言の世界観やさまざまな表現方法があることを学びました。



DATA

実施校：飯島小学校（栄区） コーディネーター：久良岐能舞台

アーティスト：善竹大二郎（大蔵流狂言師）、野島伸仁（大蔵流狂言師）

教科・科目：国語

実施概要：鑑賞型／狂言／6学年3学級87名／2024年12月（全1日間）

伝統芸能分野の子どもと先生からのコメント

子どもから

昔の人も、今生きている私たちも、同じものを面白いと感じていてすごいと思った。／自分の知らない言葉を聞いてそれについて考えるのが楽しかった。

先生から

自由に表現する際、ふだん目立たない子が活躍していて勉強になった。／演奏方法を知るだけでなく、所作の美しさ、日本の文化に触れることが大きさを再実感できた。

Data データで見るこれまでの取組

学校プログラムは、平成16年度にスタートしました。平成20年度には「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」を設立して事務局の基盤を強化しています。この22年間で、延べ2,200校あまりの横浜市立の小・中・義務教育・特別支援学校で、23万人を超える児童・生徒たちがアーティストと時間をともにしました。

Coordinator コーディネーターについて

学校プログラムでは、文化施設や芸術団体で活動しているスタッフが、コーディネーターとして、先生とアーティストの間に入り、実施内容を調整します。決まったプログラムがあるわけではありませんので、対象となる子どもたちにとって一番良い方法を一緒に考えていきます。また、令和5年度から各協力団体と特別プログラムを実施しています（令和7年度の参加児童・生徒数910名※）。

※令和7年度予定数。詳細は事務局までお問合せください。

学校種別実施校内訳

	令和7年度※	6年度	5年度	4年度	3年度	平成16年度～令和2年度	計（延べ）
実施校数	131	130	144	143	139	1,519	2,206
小学校	114	114	120	117	119	1,339	1,923
中学校	6	7	12	14	10	91	140
義務教育学校	2	1	2	2	0	5	12
特別支援学校	9	8	10	10	10	84	131
参加児童・生徒数	11,393	13,218	13,554	12,799	12,823	170,414	234,201
応募校数	163	140	173	170	170	1,691	2,507

※令和7年度予定数

体験型・鑑賞型別実施校内訳

	令和7年度※	6年度	5年度	4年度	3年度	平成16年度～令和2年度	計（延べ）
実施校数	131	130	144	143	139	1,519	2,206
体験型	64	72	87	88	87	986	1,384
鑑賞型	67	58	57	55	52	533	822

※令和7年度予定数

取組ジャンル別実施校内訳

	令和7年度※	6年度	5年度	4年度	3年度	平成16年度～令和2年度	計（延べ）
実施校数	131	130	144	143	139	1,519	2,206
音楽	52	44	48	53	43	562	802
演劇	9	3	6	3	6	146	173
ダンス	11	20	15	19	22	192	279
美術	14	19	22	20	22	238	335
伝統芸能	45	44	53	48	46	381	617

※令和7年度予定数

学校プログラムのコーディネーター（令和7年度）

アートNPOなど民間の芸術団体（10団体）

- Media Global
- Art Lab Ova
- 認定NPO法人あっちこっち
- NPO法人子どもに音楽を
- 民族歌舞団 荒馬座
- NPO法人横浜シティオペラ
- NPO法人横浜こどものひろば
- アートの時間
- NPO法人芸術家と子どもたち
- NPO法人Offsite Dance Project

横浜の芸術文化施設（28団体）

- 青葉区民文化センターフィリアホール
- 瀬谷区民文化センターあじさいプラザ
- 大佛次郎記念館
- 泉区民文化センターテアトルフォンテ
- 港北区民文化センターミズキーホール
- 横浜市民ギャラリー
- 栄区民文化センターリリス
- ポッシュホール（都筑区民文化センター）
- 横浜市民ギャラリーあざみ野
- 神奈川区民文化センターかなっくホール
- 横浜市大倉山記念館
- 横浜美術館
- 港南区民文化センターひまわりの郷
- 急な坂スタジオ
- 横浜にぎわい座
- 鶴見区民文化センターサルビアホール
- 久良岐能舞台
- 横浜赤レンガ倉庫1号館
- 戸塚区民文化センターさくらプラザ
- 横浜市 長浜ホール
- 横浜みなとみらいホール
- 緑区民文化センターみどりアートパーク
- 横浜市吉野町市民プラザ
- 横浜能楽堂
- 旭区民文化センターサンハート
- 横浜市岩間市民プラザ
- 磯子区民文化センター杉田劇場
- 横浜市市民文化会館閑内ホール

事務局構成団体（2団体）

- 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ
- 認定NPO法人STスポット横浜

特別プログラムの協力団体（令和7年度）

協力団体（2団体）

- 神奈川フィルハーモニー管弦楽団
- 劇団四季

コーディネーター会議

学校プログラムのより良い実施や、コーディネーター同士の連携を目指して、毎年、コーディネーターが集まって情報交換を行っています。



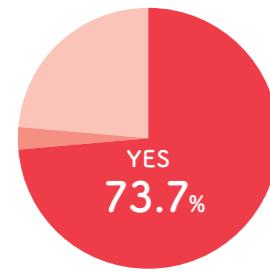
Survey 実施校のアンケートより（令和6年度）

令和6年度の実施校に対して行ったアンケートを集計したものです。子どもたちに向けたアンケート※1では、9,340人より回答がありました。教員に対して行ったアンケート※2では、130校より回答がありました。回答率は100%でした。

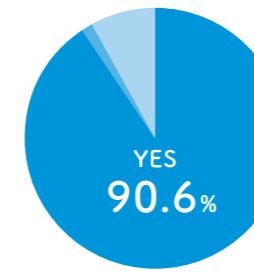
※1 小学3年生以上を対象とし、個別支援学級・特別支援学校では任意で実施しました。
※2 最も事業に関わった教員を対象とし実施しました。

子どもたちからのアンケート集計結果

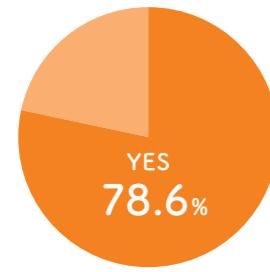
Q 今回の授業を前から楽しみにしていましたか？



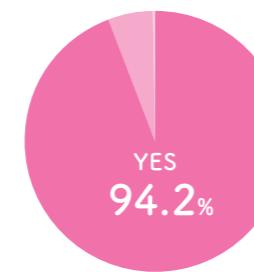
Q 授業は楽しかったですか？



Q 自分から楽しんだり、発見したりしたことはありましたか？



Q あなたは、今回のような授業をまた受けたいですか？

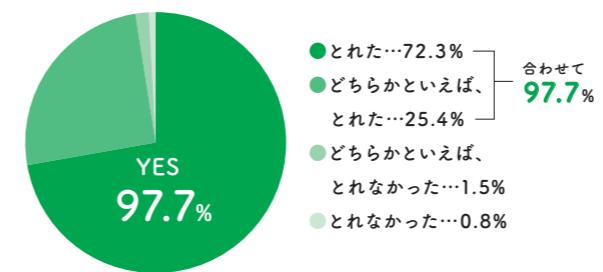


自由記述より

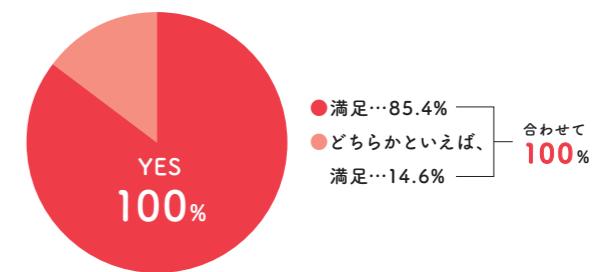
- 歌っている人が楽しそうだと周りが楽しくなったから、自分も何かをするときは楽しそうにやろうと思った。
- なんとなく描いた線から生物や食べ物に変化していくのが面白かった。
- ステージの上で演技をしたらすごく緊張した。自分にしかできないことや表情ができた。
- 自分の名前をダンスで表すことが初めてで楽しかった。
- 太鼓のバチをえることで、床の振動の大きさも変わって面白かった。

教員からのアンケート集計結果

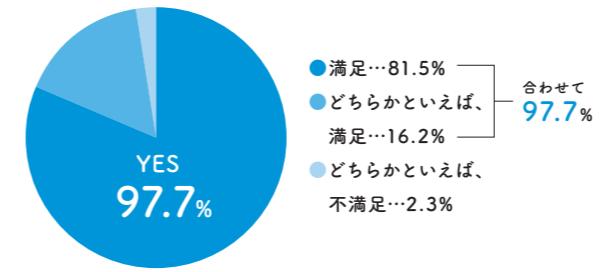
Q コーディネーターと適切なコミュニケーションをとれましたか？



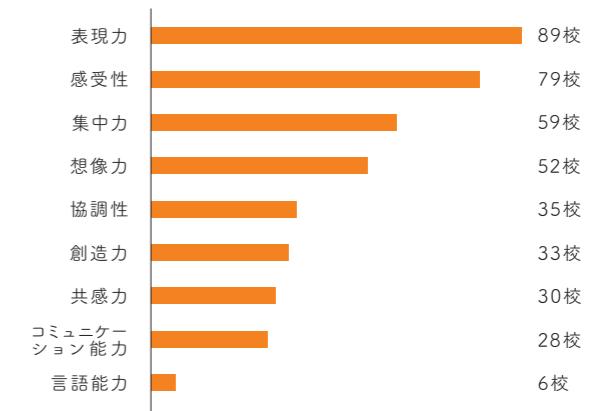
Q 子どもたちはプログラムに満足していたようでしたか？



Q 先生のねらいに照らして、今回のプログラムは満足できるものでしたか？



Q 子どもたちにどのような力が身に付いたと思いますか？（複数回答）



先生のためのワークショップ[°]

小・中・義務教育・特別支援学校、個別支援学級の教員などに向けた研修プログラムを実施しています。子どもたちとの取組経験が豊かなアーティストなどが、授業でのヒントになるような気付きを提供しています。



令和7年7月、講師：奥村 高明（神奈川大学 非常勤講師・元文部科学省教科調査官）
コーディネーター：横浜美術館



令和7年7月、講師：造形ユニット ドワイ
コーディネーター：認定NPO法人STスポット横浜

Question よくある質問

先生からの質問



Q 学校プログラムを実施したいのですが、どうしたらよいですか？

A 毎年2月～4月初旬にかけて、学校プログラムの応募を受け付けています。募集開始に合わせて、横浜市立の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校に向けて募集要項などをお送りしますので、ご確認の上、ご応募ください。また、ウェブサイトでも募集要項などをダウンロードすることができます。

Q 授業の長さはどれくらいですか？
授業数をどれくらい確保したらよいですか？

A 基本的には、授業の1単位時間（1コマ）に合わせて実施します（小学校45分、中学校50分）。場合によっては、2コマ続けて実施することもあります。鑑賞型プログラムは1日程度、体験型プログラムは3日程度で行いますが、全授業数がどれくらいになるのかは、クラス数や実施するプログラムの内容によりますので、実施決定後に担当コーディネーターとご相談ください。

Q 学校の経費負担はありますか？

A アーティストやコーディネーターの謝金などは事務局が負担しますので、原則、学校の負担はありません。一部、消耗品や材料などは、学校側で用意していただく場合もあります。詳しくは、実施決定後に担当コーディネーターとご相談ください。

Q 学校プログラムを、ふだんの授業にどのように活用したらよいですか？

A プログラム内容のうち、「音楽」や「伝統芸能」は音楽や国語、「演劇」は国語や総合的な学習の時間、特別活動など、各学校のねらいに沿って、教育課程に設定している学校が多いようです。例えば、学習発表会の導入や、地域を題材にした作品づくりなど、さまざまな教科の中で通常の授業とつなげることもできます。また、コーディネーターとなる地域の文化施設やアートNPOなどの民間の芸術団体との連携により、地域や社会に開かれた学校づくりが期待できます。過去の取組については、ウェブサイトのアーカイブ（右記QRコードからも可能）にて、学校ごとの報告書をご覧いただけます。



先生からの質問 つづき

Q 希望のプログラムを選んで応募することはできますか？

A プログラムはアーティスト、コーディネーターを応募の際に指定することはできません。学校プログラムは、対象となる学年と教科等のねらいに合わせ、コーディネーターと話し合って内容を考え、実施していきます。

Q 全校児童・生徒を対象にしたプログラムを実施することはできますか？

A 基本的に、対象は一つの学年、取組は1～2クラス単位で行います。どれだけの人数を対象とできるかは、実施するプログラム内容によりますので、実施決定後に担当コーディネーターとご相談ください。

その他の質問

Q 芸術活動をしています。学校での活動に参加したいのですが、どうしたらいいですか？

A 学校プログラムでは、学校からの要望に合わせて、コーディネーターがアーティストを選定する仕組みになっており、直接アーティストの募集はしていません。コーディネーターは横浜市内の文化施設や、芸術団体が担当していますので、お問い合わせいただき、ご希望をお伝えください。コーディネーターについては、25ページをご覧ください。

Q 企業の社会貢献事業を担当しています。何か協力できることはありますか？

A 学校プログラムは、子どもたちの豊かな感性を育てる社会的意義が大きい事業です。ご協賛や物品のご提供のほかにも、共同でのプログラム開発などさまざまな可能性が考えられますので、プラットフォーム事務局までぜひご連絡をお願いします。

令和7年度実施校一覧

全131校（小学校114校、中学校6校、義務教育学校2校、特別支援学校9校）

No.	区	学校名	学年	ジャンル	内容	アーティスト	コーディネーター
1	鶴見	岸谷小	4・5・6	音楽	オペラ	横浜シティオペラ	NPO法人横浜シティオペラ
2	鶴見	汐入小	1・2	美術	造形	Art Lab Ova	Art Lab Ova
3	鶴見	獅子ヶ谷小	個別	音楽	スティールパン	スティールパンとあそぼう	鶴見区民文化センター・サルビアホール
4	鶴見	下野谷小	6	伝統芸能	狂言	善竹大二郎、黒川亮	久良岐能舞台
5	鶴見	新鶴見小	2	ダンス	身体表現	中村駿	NPO法人芸術家と子どもたち
6	鶴見	豊岡小	6	伝統芸能	落語	春風亭一花、鏡味仙成（太神楽曲芸）	横浜にぎわい座
7	鶴見	生麦小	個別	ダンス	コンテンポラリーダンス	黒須育海	NPO法人Offsite Dance Project
8	鶴見	馬場小	6	伝統芸能	箏	奥田雅楽之一	横浜市市民文化会館閑内ホール
9	鶴見	平安小	個別	音楽	打楽器	村上海人	鶴見区民文化センター・サルビアホール
10	鶴見	矢向小	5	伝統芸能	箏	鎌田美穂子	鎌田美穂子
11	神奈川	浦島小	2	伝統芸能	和太鼓	HIBIKUS横浜	横浜能楽堂
12	神奈川	大口台小	6	音楽	ハープ	早川りさこ、黒田英実	NPO法人子どもに音楽を
13	神奈川	神大寺小	個別	伝統芸能	和太鼓	渡邊晃伸	神奈川区民文化センターかなっくホール
14	神奈川	幸ヶ谷小	4	伝統芸能	箏	吉澤延隆	神奈川区民文化センターかなっくホール
15	神奈川	中丸小	4	音楽	合唱	金持寅実、横和馬	認定NPO法人あっちこっち
16	神奈川	羽沢小	3	ダンス	コンテンポラリーダンス	Co.山田うん	NPO法人Offsite Dance Project
17	神奈川	三ツ沢小	4	伝統芸能	民謡	木津かおり	認定NPO法人あっちこっち
18	神奈川	菅田の丘小	5	ダンス	コンテンポラリーダンス	永野百合子、飯塚うなぎ（妖精大団鑼）	横浜赤レンガ倉庫1号館
19	西	東小	3	美術	造形	Art Lab Ova	Art Lab Ova
20	西	浅間台小	5	伝統芸能	箏	奥田雅楽之一	横浜市市民文化会館閑内ホール
21	西	西前小	5	音楽	ラップ	FUNI	認定NPO法人STスポット横浜
22	西	平沼小	3	演劇	身体表現	南雲麻衣、仲菜摘、佐藤湊	一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS
23	中	本牧小	4	伝統芸能	箏	外山香	横浜みなとみらいホール
24	中	本牧南小	個別	音楽	作曲	横和馬	認定NPO法人あっちこっち
25	中	元街小	個別	美術	造形	守本奈央	横浜市民ギャラリー
26	南	永田小	5	伝統芸能	箏	渡邊勝代	横浜市吉野町市民プラザ
27	南	大岡小	6	伝統芸能	箏	渡邊勝代	横浜市吉野町市民プラザ
28	南	太田小	3	ダンス	コンテンポラリーダンス	青山るりこ、兼盛雅幸、スズキクリ、Art Lab Ova	Art Lab Ova
29	南	南太田小	4	伝統芸能	箏	荒井靖水、渡邊勝代	横浜市吉野町市民プラザ
30	港南	港南台第三小	5	伝統芸能	箏	宮崎孝子	港南区民文化センターひまわりの郷
31	港南	永谷小	全	音楽	クラシック	TETRA UNISON（テトラ・ユニゾン）	港南区民文化センターひまわりの郷
32	港南	日限山小	6	伝統芸能	狂言	善竹十郎、善竹大二郎	久良岐能舞台
33	港南	南台小	3	音楽	朗読	ピアノと読み声・絃音-	大佛次郎記念館
34	保土ヶ谷	桜台小	4	伝統芸能	箏	渡邊勝代	横浜市岩間市民プラザ
35	保土ヶ谷	藤塚小	6	伝統芸能	箏	奥田雅楽之一	横浜市岩間市民プラザ
36	保土ヶ谷	岩崎小	6	伝統芸能	狂言	善竹十郎、善竹大二郎	久良岐能舞台
37	保土ヶ谷	瀬戸ヶ谷小	個別	ダンス	コンテンポラリーダンス	黒須育海	NPO法人Offsite Dance Project
38	保土ヶ谷	上星川小	個別	演劇	創作	福原冠	急な坂スタジオ
39	保土ヶ谷	富士見台小	4	音楽	ピアノ	伊藤慧	横浜市岩間市民プラザ
40	保土ヶ谷	帷子小	6	伝統芸能	箏	奥田雅楽之一	横浜市岩間市民プラザ
41	旭	上川井小	5・6	音楽	スティールパン	スティールパンとあそぼう	旭区民文化センター・サンハート
42	旭	上白根小	3	ダンス	コンテンポラリーダンス	小暮香帆	Media Global
43	旭	川井小	個別	美術	造形	山田佐映子	横浜市民ギャラリー
44	旭	笹野台小	4	伝統芸能	和楽器	吉井盛悟	特定非営利活動法人横浜こどものひろば
45	旭	さちが丘小	1・2	音楽	オペラ	横浜シティオペラ	NPO法人横浜シティオペラ
46	旭	白根小	個別	音楽	創作	櫻田素子	アートの時間
47	旭	善部小	個別	音楽	スティールパン	Steel Pan珠	Media Global
48	旭	不動丸小	4	演劇	創作	大道朋奈	旭区民文化センター・サンハート
49	旭	四季の森小	5・6	音楽	ヴァイオリン・ピアノ	加藤知子、沼沢淑音	NPO法人子どもに音楽を
50	磯子	汐見台小	6	音楽	合唱	大綱かおり	磯子区民文化センター・杉田劇場
51	磯子	根岸小	5	伝統芸能	落語	桂笙丸、林家喜之輔	磯子区民文化センター・杉田劇場
52	磯子	梅林小	5	伝統芸能	箏	外山香	磯子区民文化センター・杉田劇場
53	磯子	浜小	4	伝統芸能	箏	外山香	磯子区民文化センター・杉田劇場
54	磯子	洋光台第二小	5	伝統芸能	能	山井綱雄	磯子区民文化センター・杉田劇場
55	金沢	釜利谷東小	4	音楽	作詞・作曲	みのり	横浜市長浜ホール
56	金沢	西柴小	4	音楽	スティールパン	Okapi	横浜市長浜ホール
57	金沢	文庫小	4	音楽	スティールパン	Okapi	横浜市長浜ホール
58	金沢	六浦南小	2	美術	造形	宇田川純子	横浜市民ギャラリー
59	港北	大曾根小	1・2	音楽	声楽	河野陽子、荒井裕子	横浜市大倉山記念館
60	港北	駒林小	3	音楽	声楽	河野陽子、荒井裕子	横浜市大倉山記念館
61	港北	篠原小	4	音楽	ピアノ・ヴァイオリン	若林頤、鈴木理恵子	港北区民文化センター・ミズキーホール
62	港北	新吉田小	5	美術	金属加工	山田裕介	横浜市民ギャラリー・あざみ野
63	港北	高田東小	4	伝統芸能	和楽器	ヒダノ修一、一彩	港北区民文化センター・ミズキーホール
64	港北	網島東小	4	音楽	声楽	河野陽子、荒井裕子	横浜市大倉山記念館
65	港北	新羽小	個別	音楽	合唱	アンサンブル・コノハ	港北区民文化センター・ミズキーホール
66	港北	日吉台小	個別	美術	造形	こいちりょうじ	横浜美術館

※令和8年1月時点。都合により変更になる場合があります。アーティスト名は敬称略。
なお、本冊子における名称は、当該年度のものとなります。また、コーディネーターとして施設名が掲出されている場合、当該年度の指定管理者等が担当していることを示します。

No.	区	学校名	学年	ジャンル	内容	アーティスト	コーディネーター
67	港北	日吉南小	6	音楽	チエロ	伊藤七生	横浜市大倉山記念館
68	港北	太尾小	個別	ダンス	ダンス体験	一彩	港北区民文化センター・ミズキーホール
69	港北	大豆戸小	個別	音楽	声楽	河野陽子、荒井裕子	横浜市大倉山記念館
70	港北	矢上小	個別	ダンス	身体表現	アオキ裕キ	急な坂スタジオ
71	港北	箕輪小	6	伝統芸能	落語	柳家小はぜ	港北区民文化センター・ミズキーホール
72	緑	十日市場小	6	伝統芸能	箏	奥田雅楽之一	緑区民文化センター・みどりアートパーク
73	緑	長津田小	6	伝統芸能	箏	奥田雅楽之一	緑区民文化センター・みどりアートパーク
74	緑	緑小	3	伝統芸能	よさこい	近藤一美	緑区民文化センター・みどりアートパーク
75	青葉	青葉台小	6	伝統芸能	狂言	狂言方大蔵流 山本東次郎家	横浜能楽堂
76	青葉	あざみ野第二小	4	音楽	リコーダー	太田光子	青葉区民文化センター・フィリアホール
77	青葉	美しが丘東小	3	音楽	サックス・ピアノ	高橋龍之介、足立和音	青葉区民文化センター・フィリアホール
78	青葉	荏子田小	個別	ダンス	身体表現	アオキ裕キ	NPO法人Offsite Dance Project
79	青葉	荏田西小	6	音楽	歌曲・合唱	平野義愛	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ
80	青葉	榎が丘小	6	伝統芸能	雅楽	横浜雅楽会	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ
81	青葉	黒須田小	個別	音楽	打楽器	富田真以子	青葉区民文化センター・フィリアホール
82	青葉	さつきが丘小	個別	演劇	創作	オオタスセリ	アートの時間
83	青葉	田奈小	個別	美術	造形	三輪途道（一般社団法人メノキ）	一般財団法人日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS
84	青葉	つづじが丘小	個別	美術	造形	川崎和美	横浜市民ギャラリー・あざみ野
85	青葉	奈良小	6	伝統芸能	演芸	立川成幸、鏡味小時	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 経営企画・ACYグループ
86	青葉	奈良の丘小	6	伝統芸能	狂言	善竹十郎、善竹大二郎	久良岐能舞台
87	青葉	東市ヶ尾小	個別	伝統芸能	お囃子	民族歌舞団 荒馬座	民族歌舞団 荒馬座
88	青葉	美しが丘西小	5	音楽	ヴァイオリン・ピアノ	川久保賜紀、室井悠李	NPO法人子どもに音楽を
89	都筑	牛久保小	4	伝統芸能	小鼓	今井尋也	ボッシュホール（都筑区民文化センター）
90	都筑	荏田東第一小	5	伝統芸能	三味線	杵屋勝くに緒、杵屋勝くに晶	ボッシュホール（都筑区民文化センター）
91	都筑	勝田小	個別	ダンス	コンテンポラリーダンス	黒須育海、江口力斗	横浜赤レンガ倉庫1号館
92	都筑						